

平成29年12月4日

東近江市議会議長 市 木 徹 様

会派名： 日本共産党議員団

東近江市議会議員： 田 郷 正

## 発 言 通 告 書

次のとおり発言したいから通告します。

発言の種別	<input type="checkbox"/> 質 疑	<input type="checkbox"/> 代表質問	<input checked="" type="checkbox"/> 一般質問	<input type="checkbox"/> 討 論
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者		
項 目	内 容			
1. 市民の暮らしを守る予算を	(1) 市長は市民生活を取り巻く経済情勢をどのように認識しているのか	市長		
	(2) 市民生活を守るための施策が必要と認識しているのか	〃		
	(3) 不要不急の大型公共事業や企業立地奨励金を見直す考えはないか	〃		
	(4) 乳児おむつ等支給事業を拡充する考えはないか	担当部長		
	(5) 子育て支援のためにも医療費無料化を高校卒業までの拡充や学校給食無料化へ踏み出す考えはないか	〃		
	(6) 「予算要求書」を各部局へどのように周知されたのか	〃		
2. 国民健康保険統一化の問題点は	(1) 医療水準に地域差があるのは当たり前であり、「医療水準を反映しない」ことは国保料統一化となる。県へ医療水準を反映するよう求める考えはないのか	担当部長		
	(2) 県が示す「標準保険料」はあくまでも「技術的助言」であり法的拘束力を持つものではない。国保料算定は市の裁量を認めるよう県へ要請しないのか	〃		
	(3) 保険料負担軽減のために、県独自の財政支援を行うことや保険料の激変緩和策を求める考えはないのか	〃		

	(4) 保険料の負担軽減のために、市が法定外繰り入れを行うことは、市の裁量であり、認めるように要請しないのか	〃
	(5) 今日の保険財政の危機的要因は、国の財政措置が減らされていることにある。段階的に補助率を戻すよう県としても国に働きかけるように要請しないのか	〃
3. 「身の丈に合った国体」に向けて	(1) 国体開催要項や「過剰な準備や運営を慎み」、運営の「いっそうの簡素・効率化」を求めた 2002 年（平成 14 年）の全国知事会の緊急決議に基づいて、施設整備の在り方を見直してコンパクトな国体を目指すように県に対して要望する考えはないか	担当部長
	(2) 市として開催が求められている競技の必要経費の見積額はいくらか	〃
事務局処理欄	発言順位	平成 29 年 12 月 4 日 午前・午後 11 時 40 分 受領
	5	